

## 【概要版】SNS あんしんガイドブック

### 目的とねらい

目的：児童生徒が SNS 利用の利点を理解しつつ、いじめ・個人情報流出・犯罪被害などのリスクを自分ごととして認識し、**判断力・対処力・相談力**を身につけること。

対象：小学校中学年～中学生。授業・学級活動等で活用する教材。

### 指導目標

- **危険の認識**：SNS 上で起こり得る具体的なトラブルを説明できる。
- **共感と視点取得**：被害者・加害者・傍観者それぞれの気持ちを想像できる。
- **具体的行動**：証拠保存・接触遮断・大人への相談などの対処法を実行できる。
- **責任意識**：投稿や発言が他者に与える影響を自覚する。

### 授業案

1. 導入(5分)
  - SNS 利用状況や「ヒヤッ」とした体験を共有し、学習の目的を提示。
2. 事例ワーク(20-25分)
  - ワークシートから 1～2 ケースを選択。個人ワーク(5-10分)→グループ討議(15分)。
3. 全体共有(10分)
  - 各グループの対応案を発表し、教員が視点を整理。
4. まとめと対処法確認(10分)
  - 「証拠を残す」「その場を離れる」「必ず相談する」の 3 アクションを確認し、振り返り。

**指導の留意点**：正解を押し付けず多様な意見を引き出す。発言しにくい児童には補助的質問で参加を促す。

### 主要教材ポイント

- **個人情報の扱い**：写真の背景・名札・位置情報で特定される危険性。
- **デジタルタトゥー**：一度拡散した投稿は完全に消せない可能性が高いこと。
- **いじめの多様な形**：仲間外し、陰口、匿名投票、なりすまし、位置情報監視など。
- **犯罪リスク**：グルーミング、詐欺、金銭要求、ストーカー行為の手口。
- **言葉の使い方**：「w」などのネットスラングも場面によっては相手を傷つける可能性があること。

## 評価とフォローアップ

- 評価観点: 思考の深さ・他者理解・具体的な行動計画の有無。
- 簡易評価方法: ワークシートの記入内容とグループ発表をルーブリックで 3 段階評価(理解・応用・発信)。
- フォローアップ活動: ロールプレイ、保護者向け説明会、学級ルール作成ワーク。授業後 1 週間で振り返りアンケートを実施。

## 緊急対応

- 緊急時の対応フロー: 被害発覚→証拠保存(スクリーンショット)→校内相談窓口へ報告→必要に応じて保護者連絡・警察相談。教員は児童の安全確保を最優先に行動すること。